

# 令和5年度上尾市立太平中学校 学校評価

## 1 実施内容

- (1) 学校関係者評価委員会構成委員（12名）
- (2) 学校評価（自己評価）・・・・・・・・・・重点課題7領域及び総合29項目  
学校評価（自己評価）の参考資料として
  - ア 生徒アンケート・・・・・・・・・・22項目
  - イ 保護者アンケート・・・・・・・・・・3領域19項目
- (3) 学校評価について職員会議で検討
  - ア 前期学校評価結果 8月25日職員会議
  - イ 後期学校評価結果 2月 5日職員会議

## 2 本年度の学校評価方針

本年度は、昨年度評価項目等について変更を行ったことから、評価項目については文言等の整理に留め、昨年度との比較分析を中心に行うこととする。なお、本年度も昨年度と同様に、本校の目指す学校像を踏まえ、重点的に取り組むべき内容を7領域とした。その中で特に重点を置く項目として24項目を設定する。さらに本校のビジョンである「地域に誇れる太平中」についても項目を設定する。（12月の学校評価で実施）評価項目については生徒アンケート、保護者アンケートともリンクさせ、学校評価（教職員による自己評価）を補完することとする。実施方法については、職員の負担軽減の視点から、すべてデジタルで行うこととし、紙文書での配布は行わない。

保護者アンケートについては、「学校で身につけさせたいこと」についても、文言、内容を整理した上で継続して調査を行うこととし、保護者や地域社会における学校教育への期待等について確認を行うこととする。

学校評価（教職員による自己評価）及び生徒アンケート、保護者アンケート結果を学校関係者評価委員会に提示し、意見を伺い評価いただくことで太平中学校の教育活動のさらなる進展を図る。（根拠法令 学校教育法 学校教育法施行規則）

### 【本年度の重点方針】

- T L Iに取り組み、学びの質を変える。《学びの改革》
- 自己有用感を高める取組を行う。（レインボープラン）《課題予防的生徒指導》
- すべての生徒を見る教育相談体制を強化する。《共感的教育相談》
- 小中一貫教育を推進する。《9年間を見通した教育活動》
- 積極的な情報発信により保護者との認識共有を図る。《情報共有》
- コミュニティ・スクールとしての取組を拡大する。《地域連携推進》
- 教職員の時間外在校時間を減らす。《働き方改革》

### ア 学校評価（自己評価）

#### (ア) 内容

- ① 本年度の重点課題について、教職員が自ら実践した結果を評価

- ② 年度を上半期、下半期に2分し、2回実施予定
  - (第1回) 令和5年 7月 実施予定(領域)
  - (第2回) 令和5年12月 実施予定(教育活動総合評価)

(イ) 7領域に関する評価(前期自己評価) 項目を総合的に評価

I 学校運営

- 学校教育目標に向けた取組、適切な教育計画、校務分掌など

II 学力向上

- 特別支援教育の視点に立った教育活動の推進
- T L Iに取り組み、学びの質を変える。授業の充実
- 主体的、対話的で深い学びの学習活動による、個別最適な学びと協働的な学びの実現に取り組む。目標と振り返りのある授業
- 読書活動の推進、学校図書館の活用
- あげお学びのイノベーションの推進、教育のDX化
- 小・中学校における切れ目のない教育

III 生徒指導・心の教育

- いじめを「しない」「させない」「許さない」
- 豊かな人権感覚の育成(今日的な人権課題と差別の解消)
- デジタル・シティズンシップ教育の推進
- 家庭、地域社会、関係機関等と連携した不登校対策

IV 健康体力・特別活動

- 基礎体力の向上(体育授業、日常生活を通して)
- 安全教育の推進(防災、食物アレルギー)
- 集団活動の充実、仲間との絆づくり

V 環境整備

- 小中一貫教育の推進(9年間を見通した学習環境づくり)
- 安心、安全な学校づくり
- 活きた掲示物、きれいな学習環境

VI 地域連携

- 家庭、地域社会との役割分担(地域活動への参加)
- 地域への積極的な情報発信(学校だより、道德通信等)
- 学校行事、学習活動のオンライン配信

VII 働き方改革・サービス

- サービスの厳正(教職員事故根絶)
- 働き方改革の推進(すべきこととやめること、業務の優先順位)
- 統合型の学校業務支援システムの効果的な活用

※ ○印の項目を参考に7領域を総合的に評価する。

イ 教育活動総合評価(後期自己評価)

- 教育活動全般に係る項目について、教職員が自ら実践してきた過程と成果を評価
- 評価内容（具体的な評価項目は別紙）
  - 学校教育目標、教育課程、校務分掌、教科指導（T L I）、学習評価
  - 人権教育、道徳教育、特別支援教育、小中一貫教育、学級活動、生徒指導、
  - 教育相談、進路指導・キャリア教育、健康・安全指導、環境・掲示教育
  - 食育・給食指導、清掃指導、情報活用能力育成、G I G Aスクールの推進
  - 学校図書館教育、学校行事、研究委嘱・校内研修、職員間のチームワーク
  - 働き方改革、不祥事根絶、施設・設備等の保守点検
  - P T Aとの連携・地域社会への寄与・協力、地域に誇れる学校

## ウ 評価方法

### （ア） 前期学校評価重点

7領域については、具体的な項目（2）にあげた項目を参考に、総合的に評価する。教育活動総合評価は、項目ごとに評価する。

### （イ） 後期学校評価

領域ごとの評価項目を個別に評価する。また、学校評価（教職員による評価）を担保するために、生徒、保護者からもアンケートを実施する。

### （ウ） 評価方法

教職員一人一人が、項目ごとに達成状況を絶対評価し、「A～D」の4段階で自己評価する。

A…80%以上取り組んでおり、目標を十分に達成している。

B…60%以上80%未満の取組内容であり、概ね達成している。

C…20%以上60%未満の取組で、満足のいく達成ではない。

D…20%未満の取組であり、ほとんど達成されていない。

## エ 生徒アンケート、保護者アンケート

- 実施時期 令和5年12月
- アンケート項目

生徒、保護者共に重点項目に関連した具体的内容についてアンケートを実施する。また、保護者アンケートでは、保護者が子供に、学校で身に付けさせたい資質・能力についても調査する。

## オ 学校関係者評価委員会による評価

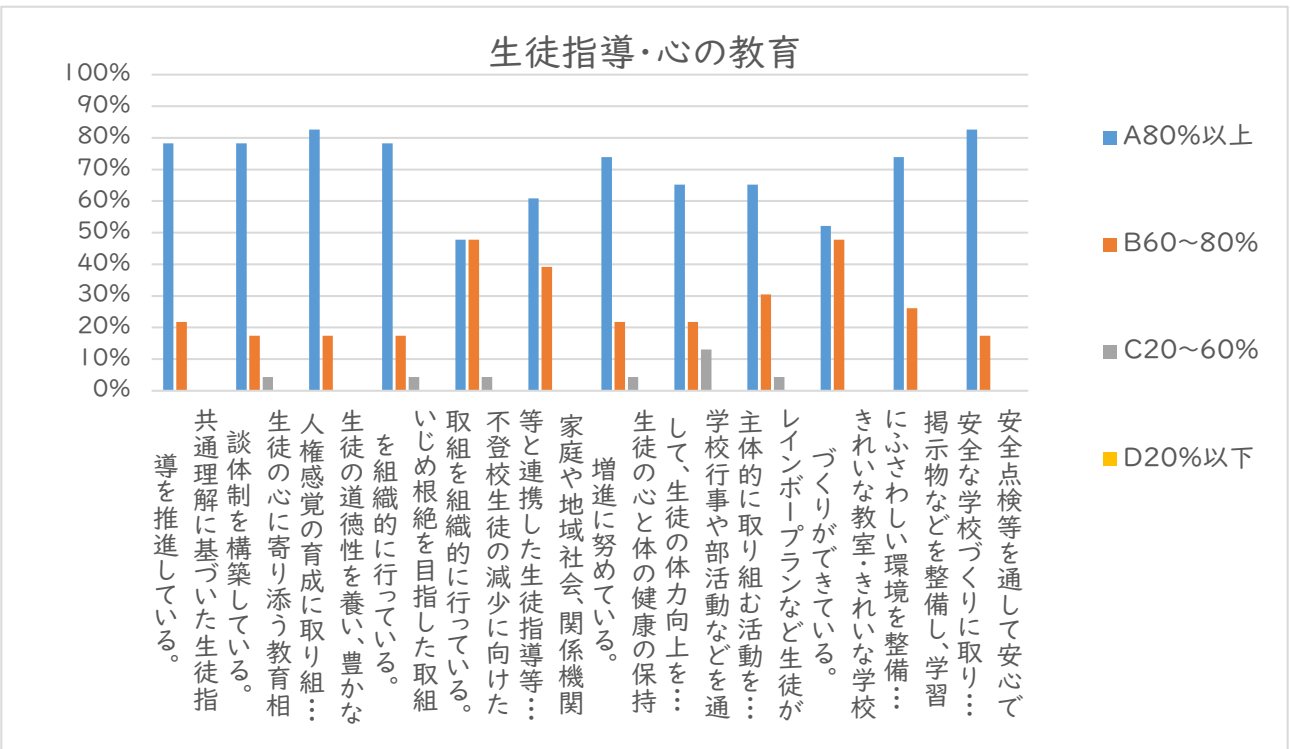
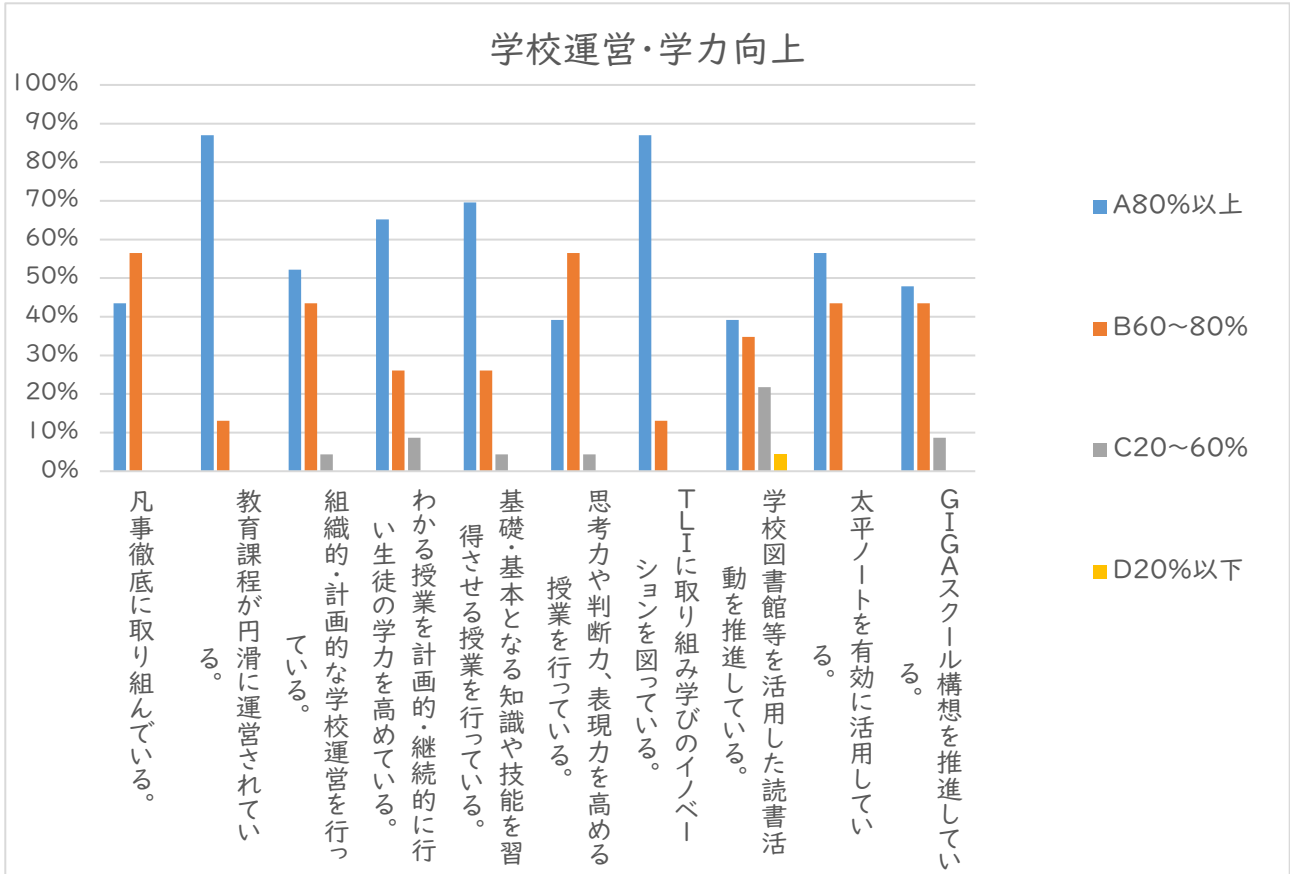
- 実施時期 令和6年2月
- 校長は学校関係者評価委員会に自己評価（教職員による評価）の結果及び生徒、保護者のアンケート結果を示し説明する。
- 学校関係者評価委員会は、学校教育活動全体を勘案した上で、自己評価及び生徒、保護者アンケート結果を含め総合的に評価する。

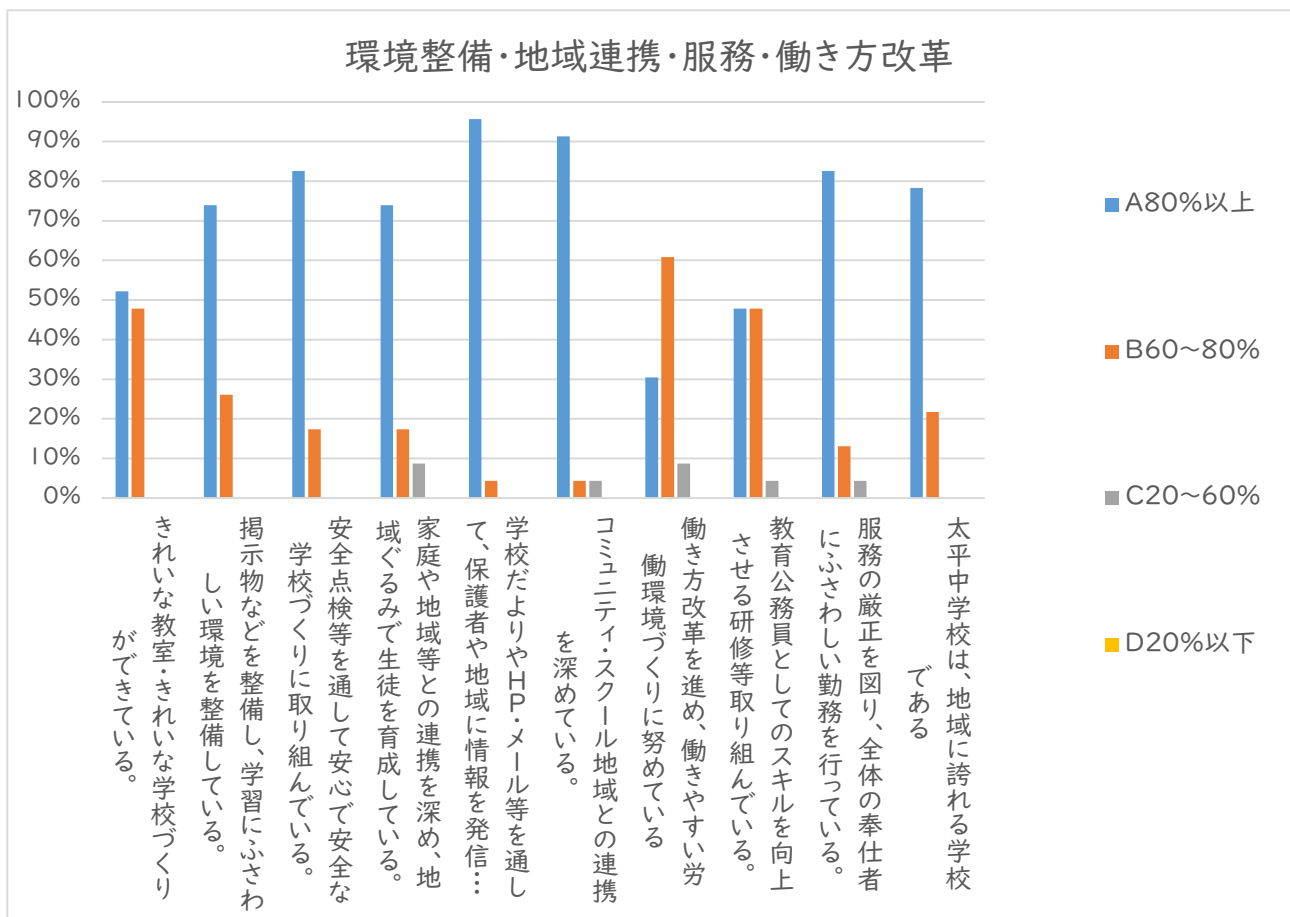
## カ 学校運営等の改善方策の公表と説明責任

- 結果の公表にとどまらず、今後の学校経営改善策についても公表する。
- 保護者、地域に評価結果等を「学校だより」「ホームページ」で公表する。

### 3 学校評価について

#### (1) 評価結果





(2) 令和5年度 学校評価（教職員による自己評価）のまとめ ○成果 △課題

○学校図書館の活用、生徒の体力向上の2項目以外はA及びB評価の合計が90%以上となっている。(令和4年度は5項目が90%未満) おおむね良好な学校運営等がなされていたと考える。

○教育課程が円滑に行われているとのA評価の回答が昨年度比13%向上した。円滑な教育活動がなされていたと考えることができる。

○TLIについてはA評価が87%、昨年度比約60%向上した。

○A評価90%以上の項目は「保護者地域への情報発信」と「コミュニティ・スクールとして地域との連携を深めている」の2項目であった。

○太平中学校は地域に誇れる学校であるとの評価がA評価で昨年度比17%向上した。

△A評価が減少した項目は、凡事徹底、思考力・判断力・表現力の育成、学校図書館、GIGAスクール、きれいな学校づくり、働きやすい労働環境づくりであった。

△不登校生徒減少への取り組みはA評価が50%を割っている。どのような取り組みが必要か。サポート委員会で検討する必要がある。

△働きやすい労働環境づくりの評価が低い。校務分掌や副主任制などの成果は学校評価結果から認められているが、在校時間が長い職員、負担が重なっている職員がいるためと思われる。倫理確立委員会で課題を明確にする必要がある。

※総論

学校評価結果から、本年度の学校教育活動はおおむね良好に進めることができた

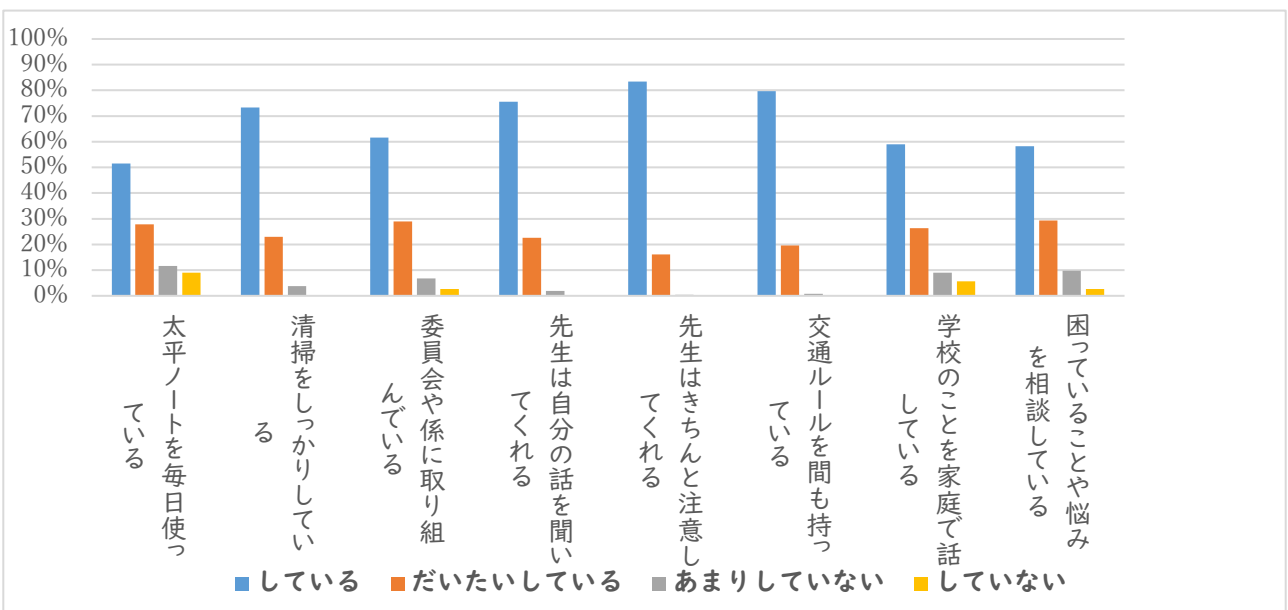
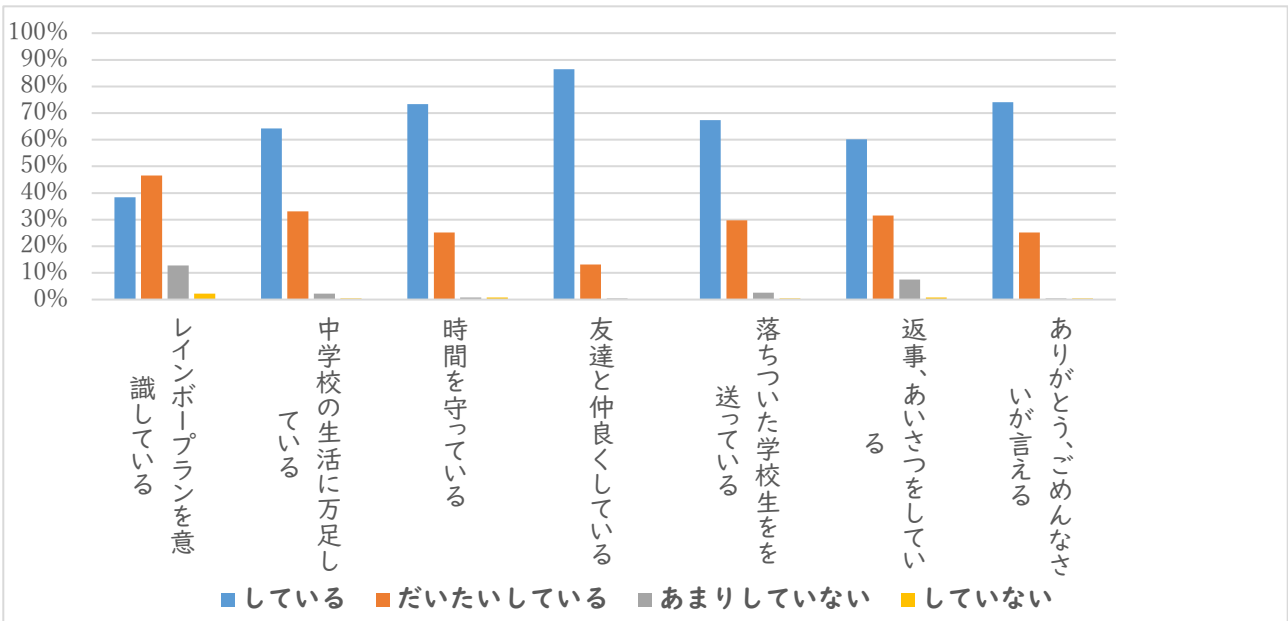
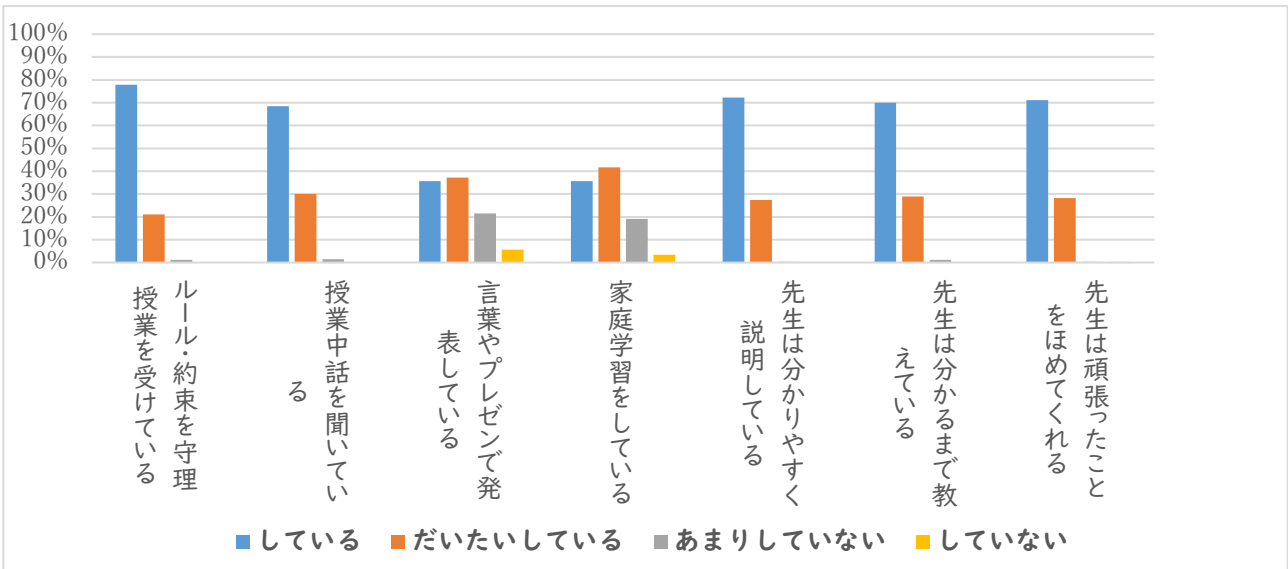
考える。しかしながら、昨年度から引き続き課題となっていること、今年度見えてきた新たな課題もある。来年度に向け、今後は各分掌、委員会が中心となり、小組織ごとに課題を明確にし、解決に向けた取り組みを考えていくボトムアップ型の組織づくりが重要であるとする。また、働き方改革に向けた業務のコンパクト化にも取り組む必要がある。

<参考> 令和5年度評価結果と令和4年度学校評価結果との比較

令和5年度 学校評価(教職員による自己評価結果) 令和4年度との比較									
領域	項目	令和5年度				令和4年度			
		A	B	C	D	A	B	C	D
学校運営	凡事徹底に取り組んでいる。	43.5%	56.5%	0.0%	0.0%	60.9%	34.8%	0.0%	4.3%
	教育課程が円滑に運営されている。	87.0%	13.0%	0.0%	0.0%	73.9%	21.7%	0.0%	4.3%
	組織的・計画的な学校運営を行っている。	52.2%	43.5%	4.3%	0.0%	47.8%	34.8%	17.4%	0.0%
学力向上	わかる授業を計画的・継続的に生徒の学力を高めている。	65.2%	26.1%	8.7%	0.0%	56.5%	34.8%	4.3%	4.3%
	基礎・基本となる知識や技能を習得させる授業を行っている。	69.6%	26.1%	4.3%	0.0%	56.5%	39.1%	0.0%	4.3%
	思考力や判断力、表現力を高める授業を行っている。	39.1%	56.5%	4.3%	0.0%	47.8%	47.8%	0.0%	4.3%
	TLIに取り組み、新しい学びを積極的に推進し、学びのイノベーションを図っている。	87.0%	13.0%	0.0%	0.0%	26.1%	60.9%	8.7%	4.3%
	学校図書館等を活用した読書活動を推進している。	39.1%	34.8%	21.7%	4.3%	56.5%	30.4%	8.7%	4.3%
	太平ノートを有効に活用している。	56.5%	43.5%	0.0%	0.0%	43.5%	47.8%	0.0%	4.3%
	GIGAスクール構想を推進している。	47.8%	43.5%	8.7%	0.0%	65.2%	26.1%	4.3%	4.3%
生徒指導	共通理解に基づいた生徒指導を推進している。	78.3%	21.7%	0.0%	0.0%	73.9%	21.7%	0.0%	4.3%
	生徒の心に寄り添う教育相談体制を構築している。	78.3%	17.4%	4.3%	0.0%	65.2%	30.4%	0.0%	4.3%
	生徒の道徳性を養う道徳教育を行い、豊かな人権感覚の育成に取り組んでいる。	82.6%	17.4%	0.0%	0.0%	69.6%	26.1%	0.0%	4.3%
	いじめ根絶を目指した取組をしっかりと行っている。	78.3%	17.4%	4.3%	0.0%	73.9%	21.7%	0.0%	4.3%
	不登校生徒の減少に向けた取組を組織的に行っている。	47.8%	47.8%	4.3%	0.0%	43.5%	43.5%	8.7%	4.3%
	家庭や地域社会、関係機関・団体等と連携した生徒指導等を行っている。	60.9%	39.1%	0.0%	0.0%	60.9%	34.8%	0.0%	4.3%
健康・体力	生徒の心と体の健康の保持増進に努めている。	73.9%	21.7%	4.3%	0.0%	60.9%	30.4%	4.3%	4.3%
	学校行事や部活動などを通して、生徒の体力向上を図っている。	65.2%	21.7%	13.0%	0.0%	43.5%	47.8%	4.3%	4.3%
	レインボープランなど生徒が主体的に取り組む活動を行っている。	65.2%	30.4%	4.3%	0.0%	56.5%	39.1%	4.3%	0.0%
環境整備	きれいな教室・きれいな学校づくりができています。	52.2%	47.8%	0.0%	0.0%	65.2%	30.4%	0.0%	4.3%
	生徒の作品や生徒の様子わかる掲示などを整備し、学習にふさわしい環境を整備している。	73.9%	26.1%	0.0%	0.0%	69.6%	21.7%	4.3%	4.3%
	、安全点検や避難訓練、パトロール活動等を通して安心して安全な学校づくりに取り組んでいる。	82.6%	17.4%	0.0%	0.0%	73.9%	21.7%	4.3%	0.0%
地域連携	家庭や地域等との連携を深め、地域ぐるみで生徒の育成に取り組んでいる。	73.9%	17.4%	8.7%	0.0%	56.5%	39.1%	4.3%	0.0%
	「学校だより」やHP・配信メール等を通して、保護者や地域に積極的に発信している。	95.7%	4.3%	0.0%	0.0%	87.0%	8.7%	4.3%	0.0%
	コミュニティ・スクールとして学校運営協議会の取組を通し、地域との連携を深めている。	91.3%	4.3%	4.3%	0.0%	78.3%	17.4%	4.3%	0.0%
働き方改革	働き方改革を進め、働きやすい労働環境づくりに努めている	30.4%	60.9%	8.7%	0.0%	34.8%	56.5%	4.3%	4.3%
	教育公務員として専門性を高め、スキルを向上させる研修等により力量を高めている。	47.8%	47.8%	4.3%	0.0%	47.8%	39.1%	13.0%	0.0%
	サービスの厳正を図り、全体の奉仕者にふさわしい勤務を行っている。	82.6%	13.0%	4.3%	0.0%	78.3%	17.4%	4.3%	0.0%
他	太平中学校は、地域に誇れる学校である	78.3%	21.7%	0.0%	0.0%	60.9%	34.8%	0.0%	4.3%
平均		66.4%	29.4%	4.0%	0.1%	59.8%	33.1%	3.7%	3.1%

#### 4 自己評価の参考となるアンケート結果

##### (1) 生徒アンケート結果



生徒アンケート結果から ○…成果と考えられること △…課題と考えられること

○全生徒のアンケート結果から、全項目の平均で「している」と回答した生徒は約65.3%であった。「している」、「だいたいしている」を合わせると約93.2%となる。昨年度と比較すると「している」については+8.5%、「している」、「だいたいしている」の合計は+3.8%と向上している。

○「している」の回答が80%を超えている項目は「友達を大切にしてお互いに仲良く過ごしている」、「先生はいけないことをしたときに、きちんと叱ってくれる」であった。全体的に友達との関係を大切にしている生徒が多く、先生をきちんと叱ってくれる存在であると認識をしていることがわかる。

先生に関する質問の回答として、「している」の割合を比較すると、「わかりやすく説明してくれる72.2%」、「わかるまで教えてくれる69.9%」、「頑張ったことをほめてくれる71.1%」、「自分の話をよく聞いてくれる75.6%」といずれも70%近く、または70%以上の生徒が先生との関係が良好であるといった回答をしている。

○22項目のすべてにおいて、「している」と回答した生徒の割合が向上している。学校生活全体への満足度は昨年度以上であったと考えることができる。

特に「している」の割合が10%以上高くなった項目は「授業のルールや約束を守り、授業に臨んでいる」、「授業中、先生や友達の話の静かに聞いている」、「先生はわかるまで教えてくれる」、「レインボープランを意識して生活している」、「太平中学校での生活に満足している」、「決まりを守り、けじめのある落ち着いた学校生活を送っている」の6項目であった。

○太平中学校の生活に満足していると回答した生徒は「している」、「だいたいしている」の合計で98.5%であった。多くの生徒は学校生活を満足していることがわかる。

△「している」と回答した生徒の割合が低い(50%以下)項目は、「自分の考えを言葉やプレゼンテーションなどで発表している」、「宿題や自学ノートなど、家庭学習がしっかりできている」、「レインボープランを意識して生活している」の3項目であった。

発表・表現する力については、本校を含め文部科学省学力・学習状況調査のアンケート調査結果においても苦手とする生徒が多い項目である。本校においては、昨年度よりやや向上しているものの、人前で発表することは苦手としている生徒がいる。ICT端末を使い発表する力を育てていくことが必要である。

家庭学習については、文科省調査結果などからも、全国平均と比較して10%近く低いという結果も出ている。今回も同様に家庭学習ができていないというアンケート結果となった。小学校ともこの課題を共有し、学習時間、学習量を増加できるよう、AIドリルなどを活用していく必要がある。

レインボープランについては、本校独自の7つの取り組みである。していると回答した生徒の割合は全項目中低い数値ではあるが、昨年度より17.2%向上していることから、目標を意識した行動がとれるようになってきていると考えられる。さらに7つの目標を意識させる取り組みを進めるため、生徒会、各専門委員会が中心となり生徒自らが実践できるような計画の策定が必要である。

△昨年度より向上はしているが、太平ノートをあまり活用していない生徒が9.0%いる。



忘れ物等の削減や連絡帳としての活用ができるよう学級指導を継続していく。

△昨年度より「していない」の回答が増加した項目は「クラスや学年、学校の取り組みや委員会、係活動に積極的に参加している」であった。（-1.8%）係や委員会活動等は公共公益の意識化につながることから、意義等が理解できるよう指導・支援に取り組む。

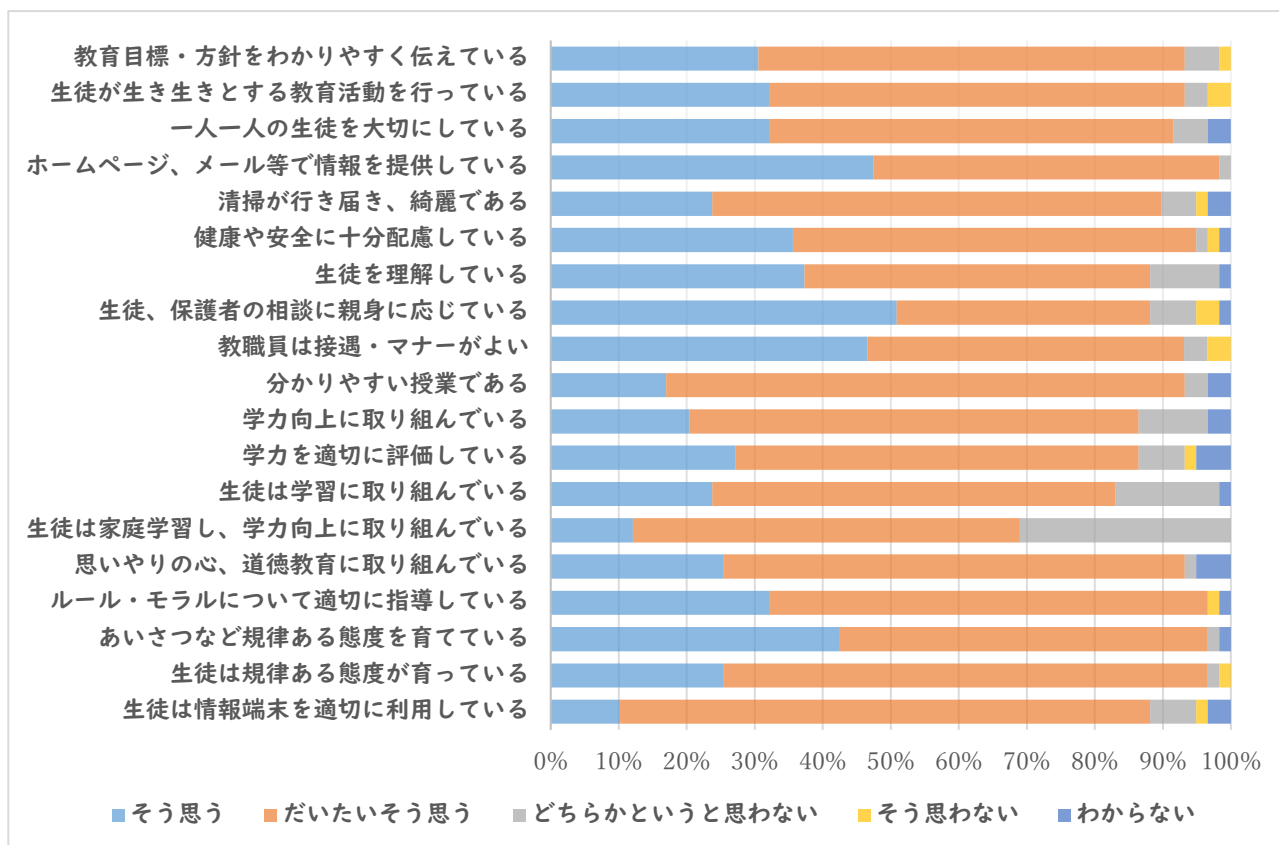
## 総論

全体的には良好な評価結果であり、学校評価（自己評価）ともおおむね正の相関関係が見られる。生徒が感じている課題を解決することが重要であることから、令和6年度の重点項目について、改めて検討が必要である。

### <参考> 令和5年度生徒アンケート結果と令和4年度生徒アンケート結果との比較

質問	令和5年度				令和4年度			
	している	だいたいしている	あまりしていない	していない	している	だいたいしている	あまりしていない	していない
授業のルールや約束を守り、授業に臨んでいる。	77.8%	21.1%	1.1%	0.0%	67.6%	28.0%	4.4%	0.0%
授業中、先生や友達の話静静地に聞いている。	68.4%	30.1%	1.5%	0.0%	57.5%	36.4%	5.5%	0.7%
自分の考えを言葉やプレゼンテーションなどで発表している。	35.7%	37.2%	21.4%	5.6%	30.5%	36.4%	26.9%	6.2%
宿題や自学ノートなどの家庭学習がしっかりできている。	35.7%	41.7%	19.2%	3.4%	28.4%	48.0%	18.9%	4.7%
教科の先生は、分かりやすく説明してくれている。(全体として)	72.2%	27.4%	0.4%	0.0%	62.5%	33.5%	3.3%	0.7%
教科の先生は、分かるまで教えてくれる。(全体として)	69.9%	28.9%	1.1%	0.0%	57.8%	35.6%	5.8%	0.7%
先生方は、頑張ったことをほめてくれる。(全体として)	71.1%	28.2%	0.4%	0.4%	62.9%	32.0%	3.6%	1.5%
太平中レインボープランを意識して生活している。	38.3%	46.6%	12.8%	2.3%	21.1%	50.5%	22.9%	5.5%
太平中学校での生活に満足している。	64.3%	33.1%	2.3%	0.4%	53.8%	38.9%	5.8%	1.5%
時間を守って学校生活を送っている。	73.3%	25.2%	0.8%	0.8%	68.7%	29.1%	2.2%	0.0%
友達を大切に仲良く過ごしている。	86.5%	13.2%	0.4%	0.0%	80.4%	16.0%	2.9%	0.7%
きまりを守り、けじめのある落ち着いた学校生活を送っている。	67.3%	29.7%	2.6%	0.4%	53.5%	41.5%	4.7%	0.4%
「しっかり返事、進んであいさつ」をしている。	60.2%	31.6%	7.5%	0.8%	51.6%	40.7%	6.9%	0.7%
「ありがとう」、「ごめんなさい」が素直に言える。	74.1%	25.2%	0.4%	0.4%	73.1%	21.8%	4.7%	0.4%
太平ノートを毎日活用している。	51.5%	27.8%	11.7%	9.0%	44.4%	25.8%	15.6%	14.2%
清掃活動にしっかり取り組んでいる。	73.3%	22.9%	3.8%	0.0%	64.0%	33.8%	1.5%	0.7%
クラスや学年、学校の取組や委員会、係活動に積極的に参加している。	61.7%	28.9%	6.8%	2.6%	58.9%	30.9%	8.4%	1.8%
先生は自分たちの話をよく聞いてくれる。(全体的として)	75.6%	22.6%	1.9%	0.0%	66.5%	29.8%	3.3%	0.4%
先生は、いけないことをしたときに、きちんと注意してくれる。(全体として)	83.5%	16.2%	0.4%	0.0%	74.2%	25.1%	0.4%	0.4%
日頃から交通ルールを守って生活している。	79.7%	19.5%	0.8%	0.0%	72.4%	25.8%	0.7%	1.1%
学校で起きたことなどを家庭でよく話している。	59.0%	26.3%	9.0%	5.6%	52.0%	26.9%	12.7%	8.4%
困っていることや、悩んでいることを誰かに相談している。	58.3%	29.3%	9.8%	2.6%	48.4%	30.5%	12.7%	8.4%
全項目平均	65.3%	27.9%	5.3%	1.6%	56.8%	32.6%	7.9%	2.7%

## (2) 保護者アンケート結果



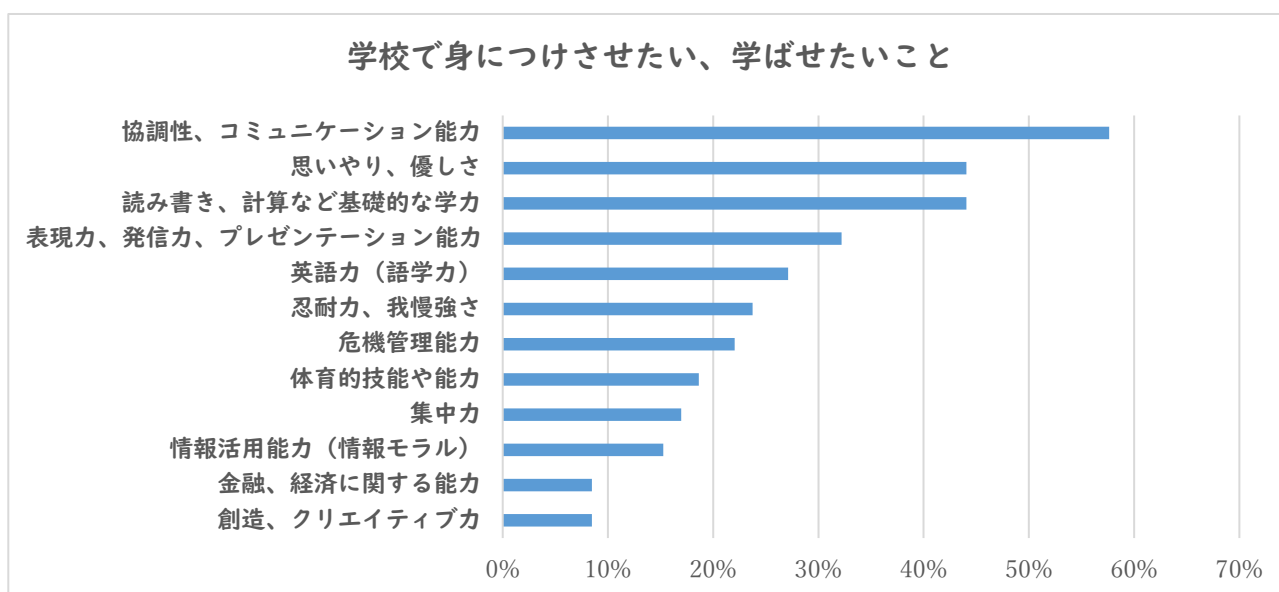
○19項目中18項目で「そう思う」、「だいたいそう思う」の合計が80%を超えており、学校教育活動がおおむね良好と考えている保護者が多い。

○家庭学習については課題と考えている保護者が多い。AIドリルなどに取り組ませるなどの学校からの働きかけも必要である。

○昨年度と比較すると19項目中14項目で「そう思う」の割合が増えている。また、項目の平均値では「そう思う」「大体そう思う」の合計も5%以上増加している。

○学校評価結果とおおむね正の相関関係が見られる。

### <参考> 保護者が考える学校で身につけさせたいこと、学ばせたいこと（3項目選択）



<参考> 令和5年度保護者アンケート結果と令和4年度保護者アンケート結果との比較

評価項目等	令和5年度					令和4年度					
	そう思う	だいたい そう思う	どちらか というと思 わない	そう思わ ない	わからない	そう思う	だいたい そう思う	どちらか というと思 わない	そう思わ ない	わからない	
学校教育全般	学校は、家庭に学校教育目標や教育方針をわかりやすく伝えている。	30.5%	62.7%	5.1%	1.7%	0.0%	25.0%	66.3%	4.8%	1.0%	2.9%
	学校は、生徒が生き生きとするような教育活動を行っている。	32.2%	61.0%	3.4%	3.4%	0.0%	26.7%	59.0%	11.4%	1.0%	1.9%
	学校は、一人一人の生徒を大切にすることをしている。	32.2%	59.3%	5.1%	0.0%	3.4%	27.6%	53.3%	11.4%	3.8%	3.8%
	学校は、学校だよりやホームページ、配信メールなどで積極的に情報を提供している。	47.5%	50.8%	1.7%	0.0%	0.0%	47.6%	43.8%	7.6%	1.0%	0.0%
	学校は、清掃がよく行き届き、きれいである。	23.7%	66.1%	5.1%	1.7%	3.4%	26.7%	64.8%	7.6%	0.0%	1.0%
	学校は、生徒の健康や安全に十分配慮した教育活動を行っている。	35.6%	59.3%	1.7%	1.7%	1.7%	29.8%	61.5%	4.8%	1.9%	1.9%
	教職員は、生徒を理解している。	37.3%	50.8%	10.2%	0.0%	1.7%	28.6%	56.2%	9.5%	2.9%	2.9%
	教職員は、保護者や生徒の相談に親身になって応じている。	50.8%	37.3%	6.8%	3.4%	1.7%	40.0%	49.5%	6.7%	1.0%	2.9%
	教職員は、接遇やマナーがしっかりしている。	46.6%	46.6%	3.4%	3.4%	0.0%	40.0%	53.3%	5.7%	0.0%	1.0%
学習指導 学力向上等	学校は、わかりやすい授業を行っている。	16.9%	76.3%	3.4%	0.0%	3.4%	9.5%	63.8%	13.3%	2.9%	10.5%
	学校は、生徒の学力向上に取り組んでいる。	20.3%	66.1%	10.2%	0.0%	3.4%	17.1%	58.1%	16.2%	1.9%	6.7%
	学校は、生徒の学力を適切に評価している。	27.1%	59.3%	6.8%	1.7%	5.1%	21.0%	60.0%	13.3%	1.9%	3.8%
	生徒は、学校でしっかりと学習に取り組んでいる。(ご自分のお子さんを含めて)	23.7%	59.3%	15.3%	0.0%	1.7%	17.1%	61.9%	18.1%	1.0%	1.9%
	お子さんは、家庭学習をしっかり行うなど、学力向上に自ら取り組んでいる。	12.1%	56.9%	31.0%	0.0%	0.0%	18.1%	43.8%	31.4%	5.7%	1.0%
道徳教育・いじめ防止 規律ある態度等	学校は、思いやりの心を育てるなど、道徳教育に取り組んでいる。	25.4%	67.8%	1.7%	0.0%	5.1%	22.1%	65.4%	3.8%	2.9%	5.8%
	学校は、ルールやモラルについて適切に指導している。	32.2%	64.4%	0.0%	1.7%	1.7%	25.7%	62.9%	4.8%	3.8%	2.9%
	学校は、あいさつなど規律ある態度の育成に取り組んでいる。	42.4%	54.2%	1.7%	0.0%	1.7%	30.5%	58.1%	5.7%	1.0%	4.8%
	生徒は、規律ある態度(ルール遵守の姿勢・態度、あいさつ、礼儀等)が育っている。(ご自分のお子さんを含めて)	25.4%	71.2%	1.7%	1.7%	0.0%	26.7%	62.9%	3.8%	2.9%	3.8%
	生徒は、スマートフォンなどの情報機器を適切に利用している。(ご自分のお子さんを含めて)	10.2%	78.0%	6.8%	1.7%	3.4%	18.1%	54.3%	21.0%	3.8%	2.9%
<b>平均</b>	<b>30.1%</b>	<b>60.4%</b>	<b>6.4%</b>	<b>1.2%</b>	<b>2.0%</b>	<b>26.2%</b>	<b>57.8%</b>	<b>10.6%</b>	<b>2.1%</b>	<b>3.3%</b>	
<b>平均の累計</b>	-	<b>90.5%</b>	<b>96.9%</b>	<b>98.0%</b>	<b>100.0%</b>	-	<b>84.0%</b>	<b>94.6%</b>	<b>96.7%</b>	<b>100.0%</b>	

※「そう思う」、「だいたいそう思う」の合計が令和5年度は90%を超えている。

## 5 学校関係者評価委員会による評価

No	学校経営、教職員の服務等について	令和5年度	令和4年度
1	学校は、学校教育目標の具現化に向け取り組んでいる。	3.6	3.5
2	学校は、学習指導の充実に取り組んでいる。	3.4	3.7
3	学校は、いじめ防止や生徒理解のため、生徒指導、教育相談の充実に取り組んでいる。	3.5	3.7
4	教職員は、生徒一人一人を大切にした学年・学級づくりに取り組んでいる。	3.8	3.7
5	学校は、生徒の安全安心、不審者対応や交通事故防止などの安全に関して、適切に取り組んでいる。	3.4	3.6
6	学校は、生徒の学力向上のため、ICT機器の活用や、授業改善に取り組んでいる。	3.8	3.3
7	学校は、保護者や地域に開かれた学校づくりに取り組んでいる。	4.0	3.6
8	教職員は、教育公務員としての自覚を持ち、生徒の模範となるようマナーの向上に努めている。	3.6	3.5
No	生徒の活動等について	令和5年度	令和4年度
1	生徒は、集中して学習に取り組んでいる。	3.8	3.5
2	生徒は、ていねいな言葉づかいができています。	3.3	3.4
3	生徒は、友達や先生、来校者、地域の方々に進んであいさつをしている。	3.3	3.3
4	体育祭、合唱祭などの学校行事は、生徒にとって楽しく充実したものになっている。	4.0	3.8

### 意見

○学校評価では、教育課程の円滑な運営、まなびのイノベーションへの取組等、学校評価アンケートのほとんどすべての項目について高い評価が得られている。

○解決すべき課題はあるが全体として学校の経営、運営はとてもうまく機能しているものと判断する。

## 6 今後の課題等

- 本年度は、開かれた学校教育について、おおむね良好な結果となっているが、家庭、地域社会、学校との相互協力関係については課題もある。さらに一歩進み、家庭、地域社会、学校の三者が一体となった教育活動について考えていく必要がある。
- 欠席がちな生徒への対応については、家庭との連携だけでなく、行政機関との連携による、幼児期からの対応など社会全体で取り組む必要がある。
- 学力向上のための授業の創意工夫。本年度は誰もがわかる授業として特別な教育的支援について研究を進めてきた。令和6年度も継続して研究を進め、さらにユニバーサルな授業を確立できるようにしていく必要がある。また、教えるのではなく、考えさせ、自分の言葉で学習のまとめを行わせるなどの授業展開が課題である。
- 組織的な学校運営、教育課程、校務分掌などは、個人が負担増とならないよう組織的に対応する必要がある。
- 令和の日本型教育 個別最適の学習、主体的、対話的で深い学びに取り組めるような学習方法、形態の工夫が必要。TLIのような学習を今後さらに進めることが重要。
- 教育のDX化については、さらに進めていく必要性を感じている。教育事業者等との教材の共同開発や。学校予算の選択と集中など総合的な取り組みが必要である。学校だけでは解決できない課題となるため、教育行政機関とも連携をさらに深める必要がある。
- 働き方改革のさらなる推進が必要。個人の課題としては、効果的な学校教育を進める上での働き方に対する意識改革、組織としての課題は分掌等の平滑化と業務のスリム化が課題であると考えます。

<参考>学校で身につけさせたい力 保護者、教職員の比較（3つまで複数回答可）

